

平成 26 年 5 月 8 日 00169 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

# 北見武道通信

ニュースレター 【花の便り】 北見の新たな名所になりそうです！！

北見市武道館の周りにはエゾムラサキツツジやエゾヤマザクラが満開！

4 月末の暖気を受けて、道内ニュースでも次々に蕾から花を咲かせ始めた、桜開花の便りが届き各地ではイベントも開かれています、この北見市武道館周辺でも、東陵公園入口から公園内にかけて春一色になっています。

エゾムラサキツツジ(蝦夷紫躑躅)は、北東アジア原産の高さ1~2メートルの半常緑低木で花言葉は「片思いの恋」。日本では北海道にのみ自生し、ツツジの中で最も早く開花し、北海道の春を告げる花のひとつです。環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に登録されています。北海道のまちの花に指定されている花、第1位はツツジで、第2位はハマナス、第3位はスズランです。

エゾヤマザクラは、オオヤマザクラ(大山桜)の野生種の桜であり、エゾヤマザクラという品種は存在せず、別名として、花色が淡紅色であることからベニヤマザクラ(紅山桜)、北海道に多く生息していることからエゾヤマザクラ(蝦夷山桜)と呼ばれています。花言葉は近年「純潔」「精神美」も加えられ、「愛国心の象徴」として「大和心・大和魂」を兼ね備えた花と言われています。



## 連載 中国「老子」の思想 五十三章 盜賊の驕り

かりにわたしが明知を得て、大いなる「道」にのっとる政治を行うとする。そのときわたしが心がけるのは、何よりも邪道に踏みこまぬことだけだ。

大道は坦々として平らかだ。にもかかわらず、人々は、小知に頼って小徑を歩きたがるものだ。

役所が立派なのは、政治が行き届いている証拠だといわれる。だが真相はまさしく逆で、そんな国に限って田畑は荒れはて、人民の米糧はカラッポだ。にもかかわらず為政者は、美服をまとい、利劍をさげ、食膳には山海の珍味を並べ、私財をせっせと蓄えている。盜賊の驕りとはこのことである。

これほど「道」にそむいた行為があろうか。

原文:使我介然有知、行於大道、唯施是畏。大道甚夷、而民好徑。朝甚除、田甚蕪、倉甚虛、服文綵、帶利劍、厭飲食、財貨有餘。是謂盜夸。非道哉。

五十四章に続く